

Your Ref.: 2691-000047/US
Our Ref. : 62173US/P-697WO

Partial English Translation of JP-U 62-20476

Part A (Page 1)

Claim for Utility Model

A knitted fabric guiding apparatus characterized in that below a gap wire of a pair of needle beds facing each other in a shape of hump, a knitted fabric holding member comprising a pair of base materials which are respectively planted densely with elastic filamentous bodies is arranged so that a downward path of a knitted fabric is sandwiched in the knitted fabric holding member, that heads of the filamentous bodies are lower than bases of the filamentous bodies, and that the pair of the base materials are apart from each other with bottom ends more apart than top ends, in order to nip the knitted fabric with the filamentous bodies strongly in a upper portion of the knitted fabric holding member and more weakly in a lower portion.

⑫ 実用新案公報(Y2)

昭62-20476

⑪ Int. Cl.⁴

識別記号

庁内整理番号

⑭ 公告 昭和62年(1987)5月25日

D 04 B 15/88
15/90

1 0 3

7352-4L

(全3頁)

⑮ 考案の名称 編成編地の案内装置

⑯ 実 願 昭57-133993

⑰ 公 開 昭59-37388

⑱ 出 願 昭57(1982)9月3日

⑲ 昭59(1984)3月9日

⑳ 考 案 者 島 正 博 和歌山市今福1丁目3番22号

㉑ 出 願 人 株式会社島アイデア・センター 和歌山市神前357番地

㉒ 代 理 人 弁理士 大野 克躬 外2名

㉓ 審 査 官 中 西 一 友

㉔ 参 考 文 献 特開 昭48-1354(JP, A) 実公 昭4-1168(JP, Y1)

A

1

2

㉕ 実用新案登録請求の範囲

山型に対向して設けた1対のニードルベッドの
歯口ワイヤーの下位に、編地の下降通路を挟ん
で、一対の基材にそれぞれ弾性を有する線状体を
密植してなる編地係止部材を、前記線状体の頭部
が前記線状体の基礎部分より下向するように、か
つ、前記一対の基材を下端が開いたハ字状をなし
て設け、編地係止部材の上部において強く下部に
おいてそれよりは弱く前記線状体により編地をニ
ップしたことを特徴とする編成編地の案内装置。

考案の詳細な説明

本考案は、編成された直後の編地を案内する編
成編地の案内装置に係り、山形に対向して設けた
1対のニードルベッドの歯口ワイヤーの下位に、
編地の下降通路を挟んで一対の基材にそれぞれ弾
性を有する線状体を密植してなる編地係止部材
を、前記線状体の頭部が前記線状体の基礎部分よ
り下向するように、かつ、前記一対の基材を下端
が開いたハ字状をなしで設け、編地係止部材の上
部において強く下部においてそれよりは弱く前記
線状体により編地をニップしたことを特徴とする
ものである。

従来編成された編地を引き下げ、案内するため
の装置が種々考案されており、特に編成された編
地をその両側からシンカープレートにより支持し
て案内する装置も考えられた。この装置はニード
ルベッドの歯口部分に設けてあるシンカープレ

トに鋸歯状の凹凸を設けることにより、対向した
ニードルベッド間に鋸歯状凹凸で挟まれた編地通
路を形成したものであるが、引き下げられつつあ
る編地が逆に上昇することは確かに防止できる
が、もし、ニードルベッドをラッキングしたよう
な場合に、シンカープレートも当然に横移動する
から鋸歯状凹凸で係止されている編地が対向して
設けられているシンカー間であたかも揉まれるよ
うな状態を呈し、編成された編地を損傷するよう
な事態を生ずることがあつた。

そこで、本考案はニードルベッドをラッキング
するような場合であつても、案内装置に係止され
ている編地を全く損傷することなく保持し、か
つ、一侧にカールしやすいような性質の編地であ
つても、編地引き下げ通路に添って正常な位置に
保持することを目的としている。

次に本考案装置の実施の一例を図面と共に説明
する。

第1図に示す実施例は、1対のニードルベッド
1, 1を山形に対向して設けたもので、左右のニ
ードルベッド1, 1及びそれに附随する装置は同
一構造のものが対称に設けられている。そこで、
左右のニードルベッド及び附随装置は同一符号を
付して説明する。

ニードルベッド1は、その先端に針間隔と同一
間隔でシンカープレート溝2を切削し、シンカー
プレート溝2の上部には、ニードルベッド1の上

3

面に位置してシンカー固定ワイヤー溝3を、またニードルベッド1の下面には、シンカープレート固定溝4をそれぞれ設けてある。5はシンカープレートで、上部に設けた凹部6をニードルベッド1のシンカー固定ワイヤー溝3に嵌合しているシンカー固定ワイヤー7に係合し、かつ、下部屈曲端8をシンカープレート溝4に係合することによってシンカープレート5はニードルベッド1と一体に構成される。9は隣接するシンカープレート5を通して嵌挿した歯口ワイヤーで、針10により編成された編地15のループを受けることになる。また、ニードルベッド1の先端には、シンカープレート溝2に沿って凹陷部11を構成し、該部に編地係止部材12を設ける。編地係止部材12は、基材13に線状体14を密植してなるもので、線状体14はシンカープレート5を越えてニードルベッド1、1の対称の中心軸線位置にある編地の下降通路Cまで延びている。

係止部材12の基材13の一例をあげれば、布地、不織布等を適宜の厚さに積層してなるもので、該基材13に適宜配列で大略U字形に屈曲した金属ワイヤー等の線状体14を植えることにより、編地係止部材12は作られる。また、線状体14は、合成樹脂等の線状体でも良く、一本ずつ配植したものでなく、刷子のように束ねた線状体であつても良い。更に、線状体と基材とを合成樹脂で一体成形しても良い。

次に本考案装置の作用につき説明する。

編地15は対向して設けたニードルベッド1、1の編針10、10の一方又は双方により編成され、編地下降通路Cに添って下降し、図示しない捲取装置により捲き取られる。この間編地15はその両側から編地係止部材12の線状体14の挟圧を受けることになる。そして、編地15の組織等が原因して編地15が一側にカールしやすい状態となつていても、線状体14の適度の弾性によ

4

り編地15は編地下降通路Cに沿って下降するように押圧され捲き取られる。

また、ラッキング動作によつて、一方のニードルベッドが横に移動するような場合であつても、編地15を挟持している編地係止部材12は、ラッキングによるニードルベッド1の移動によつて基材13が移動しても線状体14自身の弾性によつて、線状体14の、編地15と接している先端は、編地15に対し編地15をラッキング方向に強く引張る作用を与えることはなく、線状体14が緩衝体の役目をし、編地を損傷することは全くない。

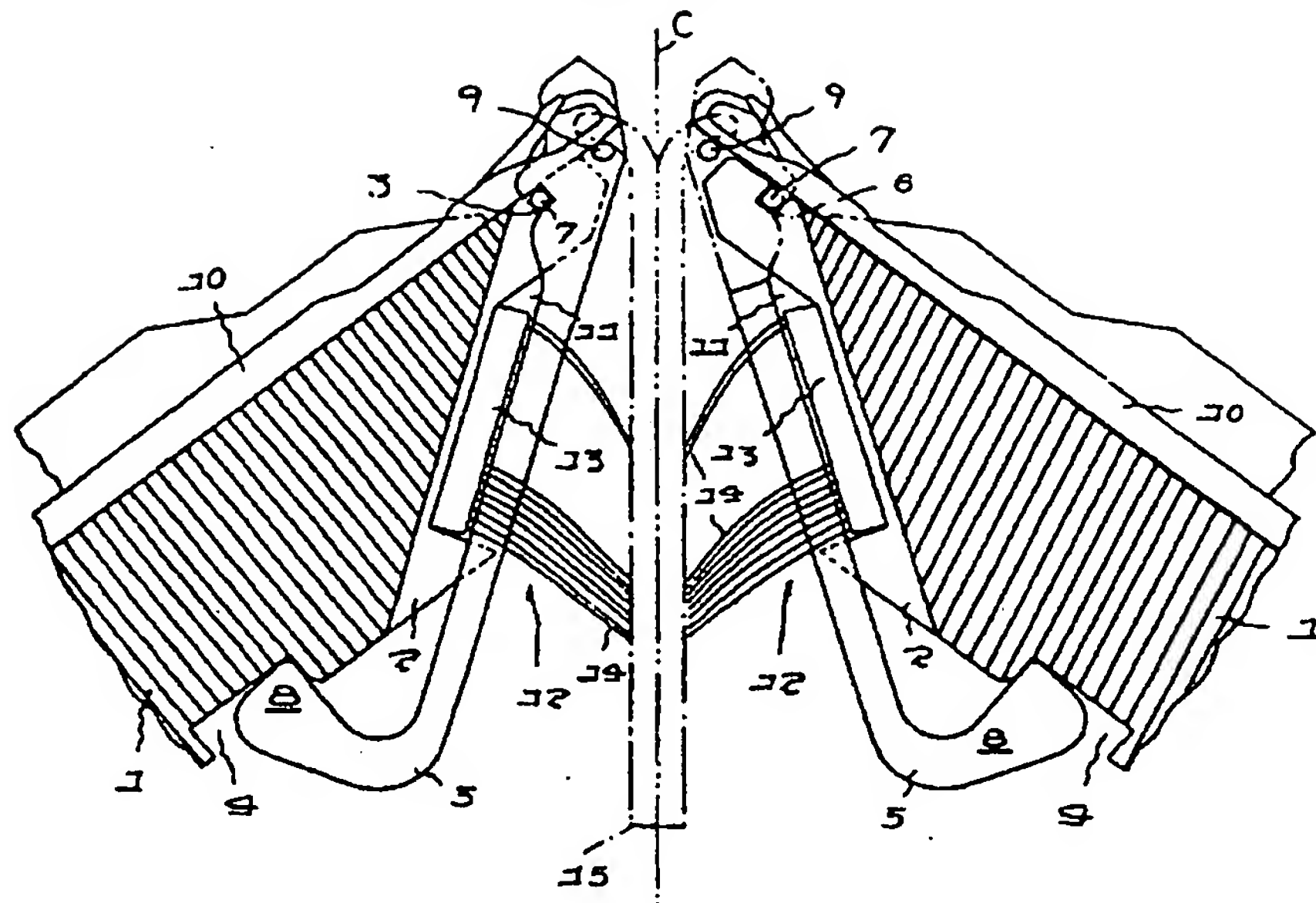
本考案装置は、上記した如く山形に対向して設けた1対のニードルベッドの歯口ワイヤーの下位に、編地の下降通過路を挟んで、基材に線状体を密植してなる編地係止部材を、前記線状体の頭部が前記線状体の基礎部分より下向するように設けたために、ニードルベッドがラッキング動作を行なつたような際でも、編地を全く損傷することなく係止状態に保つことができるばかりでなく、編地の組織によつては編地がカールしやすいような場合でも、線状体の弾性による挟持によつて編地を常に中心位置に保ち捲き取ることができる。本考案装置の1対の基材は、対の基材が下端が開いたハ字状をしいているために基材上部に植えられている線状体は基材下部に植えられている線状体よりも強く編地をニップし、編地編成時における、編地の押さえをバランスよく行なうことが出来る効果を有する。

図面の簡単な説明

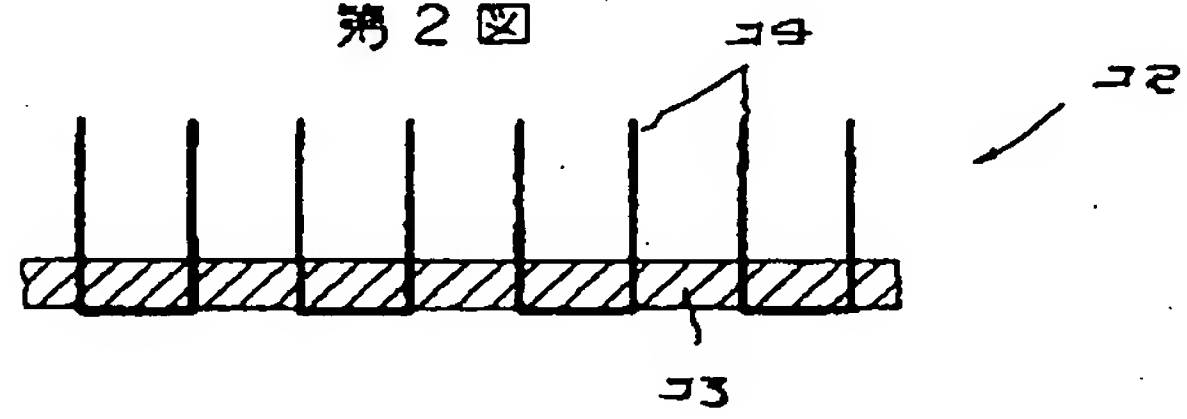
第1図はニードルベッド頂部の断面図、第2図は編地係止部材の断面図、第3図は線状体の配置を示す編地係止部材の裏面図である。

1……ニードルベッド、9……歯口ワイヤー、12……編地係止部材、13……基材、14……線状体、15……編地、C……編地下降通路。

第 1 図



第 2 図



第 3 図

